2024年8月24日 第19回JCOMM@福井 PA21

# 車いすとまちあるきアプリを使用したラストワンマイルチェック

NPO法人豊田ハンディキャブの会 野下浩平

愛知県豊田市の中心市街地にある名鉄豊田市駅周辺では、商業施設や宿泊施設、映画館、駅周辺の再開発が進んでいる。郊外においては、無人駅エリアの区画整理事業が終了した。

障害者差別解消法、バリアフリー法、SDGsなどの整備により、

**「誰もが使いやすい」「持続可能」「まちづくり」「地域共生社会」「心のバリアフリー」**

などをキーワードとする「マインドの変化を目指した取り組み」が実施されている。
しかし、

## 「誰も」の「だれ」は「だれ」なのか？

「だれ」の一員であると考えられる、普段から移動に困難を感じている障害のある方、特に今回は、外出時に車いすを利用している方と同じ行動をしてみることで、普段の困りごとに気づくことを目的に自分達が車いすに乗って実施した。

| | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| イベント名 | マイタウンおいでん@稲武 | おいでん総踊り@豊田市駅周辺 | まちあるき@挙母神社 | まちあるき@小渡増福寺（風鈴寺） | まちあるき@梅坪 | まちあるき@豊田大橋･久澄橋 | まちあるき@四郷駅 |
| 日程 | 6月24日(土) | 7月29日(土) | 10月15日(日) | 11月11日(土) | 11月25日(土) | 12月3日(日) | 12月9日(土) |
| | 16:00-20:00 | 14:00-16:00 | 14:00-17:00 | 9:00-15:00 | 10:00-12:00 | 14:00-16:00 | 10:00-13:00 |
| 場所 | どんぐりの里いなぶ | 豊田市駅周辺 | 挙母神社 | 増福寺(風鈴寺) | 梅坪駅 愛環梅坪駅 | 豊田大橋 久澄橋 | 愛環四郷駅 |
| 目的 | ・普段車いすを利用しない生活をしている方が、自ら車いすに乗り、おまつりや観光地などのまちあるきを体験する<br>・おまつりや観光地で人が乗っている車いすを押す体験をする<br>・気づいた“よいこと”“困った”も、まちあるきアプリ“FixMyStreet Japan”に集約する | | | | | | |
| 集合 | どんぐりの里いなぶ（グリッピーのぼうし） | 豊田市駅下（旧ロッテリア前） | 豊田市駅東口 ①番バス停 | 豊田市駅東口 ①番バス停 | 豊田市駅東口 ①番バス停 | シティプラザ | 豊田市駅東口 ①番バス停 |
| 体験中移動手段 | 自家用車 徒歩 | 徒歩 | 徒歩 | 豊田おいでんバス 徒歩 | 名鉄豊田線 徒歩 愛知環状鉄道 | 徒歩 | 愛知環状鉄道 |
| 内容ねらい | どんぐりの里いなぶ全体を歩く。<br>想定：マイタウンおいでんを観戦しに来たときに、おいでんだけではなく、お店での買い物や屋台などの食べ歩きが楽しめるかどうか、全体を確認する。 | 総踊りに参加するための注意点を探る。<br>想定：電車やバスなどで豊田市駅に来た。本部に参加登録を行い、自分達の踊り連のスタート位置まで自分で行くことができるか？踊り中に休憩のためにぬけられるかなどを確認する。 | 挙母祭りなどの伝統定なお祭りに参加するための注意点を探る。<br>想定：電車やバスなどで豊田市駅に来た。挙母祭りが大きく盛り上がる曳き出し（挙母神社境内）＆泣き別れ（桜町1丁目）を楽しみたい。 | やまの観光地のを楽しむこと、公共交通機関の利用方法を確認する。<br>想定：魅力あるやまの観光地に行ってみたい。お盆の時期は人が多そうなので、紅葉も楽しみながら人の少なさそうなこの時期を選択。バスもほとんど乗ったことがない | 豊田市のバリアフリー重点整備地区に指定され、整備された梅坪地区をあるき、バリアフリーの基礎知識の共通理解と当時の重点整備とは何かを知る。 | 豊田スタジアムで行われるイベントのため橋を渡る際の注意点を確認する。<br>想定：公共交通機関や自家用車で豊田市駅に来た。イベントが開催されている豊田スタジアムに向かう。行きの豊田大橋は人が多かったため、空いているかもしれない久澄橋を通ることにする。 | 近年急速に発展した四郷駅周辺。現在の駅の利用方法とバリアフリー化の方向性を探る。<br>想定：新しいお店が出店しているので行ってみたい。また、2世帯住宅などを四郷で検討しているが、昼間に自分1人での移動手段として電車は有効か、またはどのようなると利用できるかを確認する。 |

豊田市内の4年から6年生の小学生を主な参加者とし、自らが車いすに乗ってまちあるき体験する『車いすで自由研究しりん!!』という取組みを行っている。

まとめ 「車いすの人がの暮らしやすいまちとは？」

| | |
|---|---|
| 物理的なバリア | ・道がボコボコじゃりじゃりだと歩くのに困る<br>・案内表示がわかりにくい/見つけられない<br>・『車いすだからできない』が減るといい |
| 心のバリアフリー | ・自分1人では対応できない時は、周りの大人に声をかける<br>・声かけにはお互い勇気がいるから、お互いが声をかけやすい環境や、雰囲気をつくる<br>・普段立ってしていることとは違うんだと考える |
| 教育 | ・『差別はダメよ』という教育を受ける<br>・まちは勝手に暮らしやすくならない |

### ～ 仮説 ～

バリアフリーは障害者福祉や高齢者福祉のための物だけではなく、公共の福祉であることを明らかにする。

車いす、ベビーカー、自転車 などの、タイヤを使って暮らす人たちのバリアを同じテーブルに乗せ、共通部分とその大きさ（①）を見つける。

①に、運送業者、視覚障害のある方、その他の立場の方が感じるバリアを重ねることで、バリアフリーの視点が多くの人たちの中で共通であること（②）を認識できるのではないか。

②の外側については、重なりの量と個別対応の間に選択肢のグラデーションを持たせることで、自分に必要なことを判断/実感しやすくなるのではないか。

まちをつくる際の新たな指標にすることはできないだろうか。

・協力者 小学校3年生から80歳代 のべ85名 ・実施時期 2023年6月から12月

### ～ 使用したアプリ ～

まちもん/FixMyStreet Japan https://www.fixmystreet.jp/

～ 使い方 ～

1. 気になった箇所をスマホで撮影する
2. おおよその現在地を取得 のボタンを押す
3. タイトル、カテゴリ（ゴミ、道路、落書き、街灯、UD、その他）、詳細 を入力（タグ付けも可能）
4. 投稿

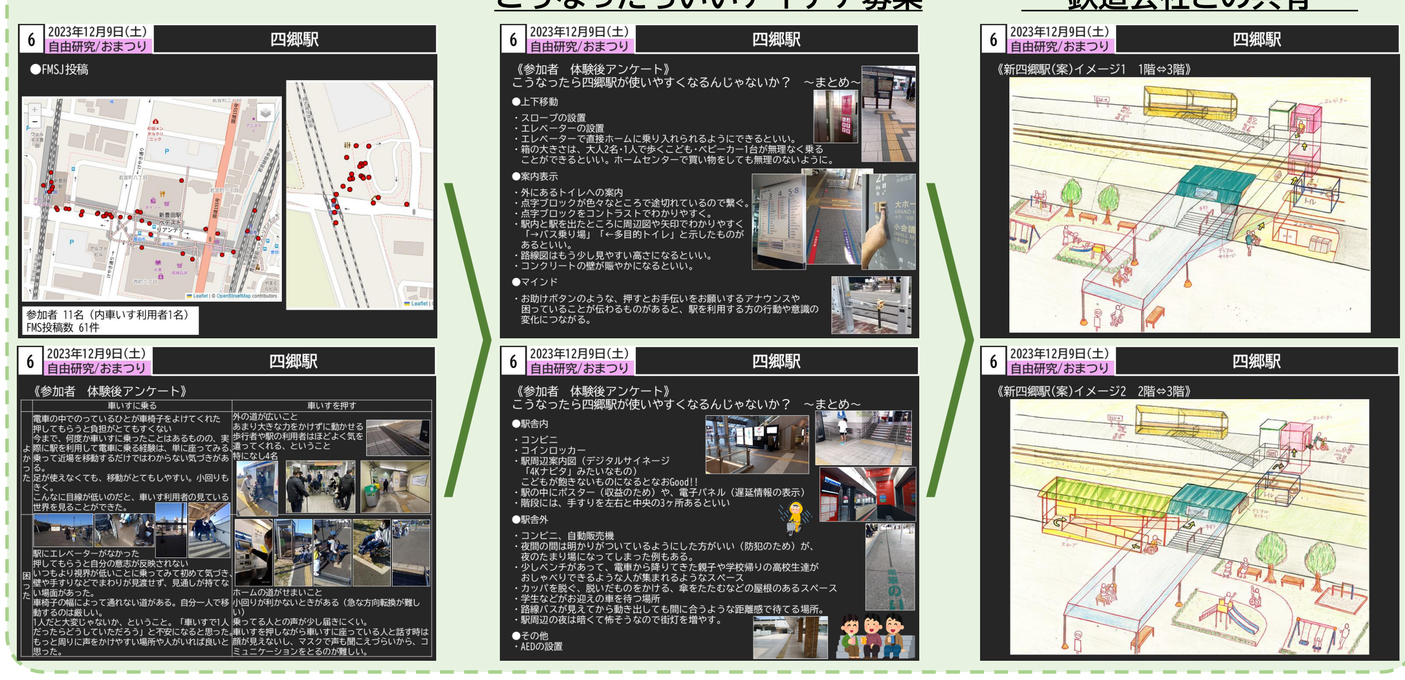
### おまつり

### 中山間観光地

### 駅の乗り換え

### 中心部の橋

### 区画整理後の無人駅




### こうなったらいいアイデア募集

### ～ 鉄道会社との共有 ～

### 2023年の結論

障害のない人が車いすに座り、まちなかを歩いた/押した方の“路面の凸凹”“段差”“道路のつなぎ目”“混雑”などに対して感じたことと、車いす利用者が日頃から感じる路面からのストレスのほとんどが一致していることが明らかになった。

← これから →

- 不便の重なり（バリア）の一般化
- MaaSとの積極的な連携

⇒地域課題の解決や移動の利便性向上を目指す